

KEYLEX[®] 500

キーレックス 500-PX
取替玉座【ヨコ付け仕様】

記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス 500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。(同じボタンを 2 度押しする設定はできません)
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

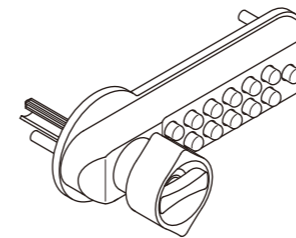


注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ノブにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
 - キーを施錠以外の目的に使用しないでください。曲がり、傷が生じ、施錠に支障をきたします。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドラッチ、デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ノブの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - キーは長沢純正キーを使用してください。
 - キー及び錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22275X

防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

年 月 日
年 月 日
年 月 日
年 月 日
年 月 日

ただ今の記憶番号

取り付けてある建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

NAGA
SAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

www.nagasawa-mfg.co.jp

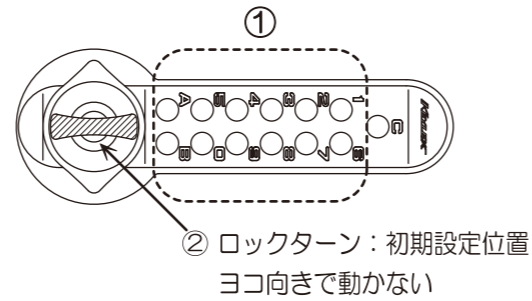
基本操作（外開き）

※内開きは対称操作となります。
ロックターン作動に関しても回転方向が逆になります。

ご使用前に確認してください

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンが初期設定位置にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている

デッドボルトは③
出ていない



※ 図は右吊元仕様です（デッドボルト：上）
（ラッチボルト：下）

右吊元（外開き）

左吊元（外開き）

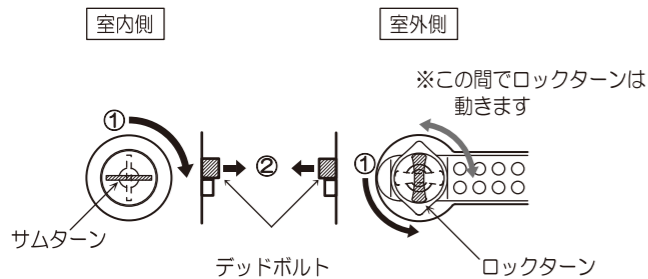
施錠

室外側

- ① ロックターンを戸先側に90° 回す（ヨコ→タテ）
- ② デッドボルトが出て施錠されます

室内側

- ① サムターンを戸先側に90° 回す（タテ→ヨコ）
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

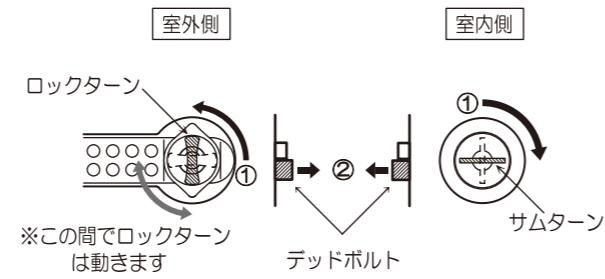


室外側

- ① ロックターンを丁番側に90° 回す（ヨコ→タテ）
- ② デッドボルトが出て施錠されます

室内側

- ① サムターンを丁番側に90° 回す（タテ→ヨコ）
- ② デッドボルトが出て、施錠されます



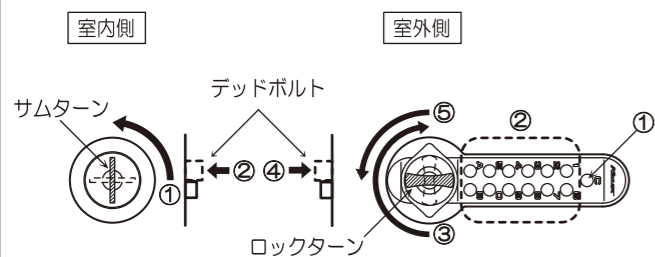
解錠

室外側

- ① C ボタンを押してください。
誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを丁番側に回しきります（タテになる）
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します（タテ→ヨコ）
ロックターンはヨコ向きで動かない：初期設定位置

室内側

- ① サムターンを丁番側に90° 回す（ヨコ→タテ）
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます

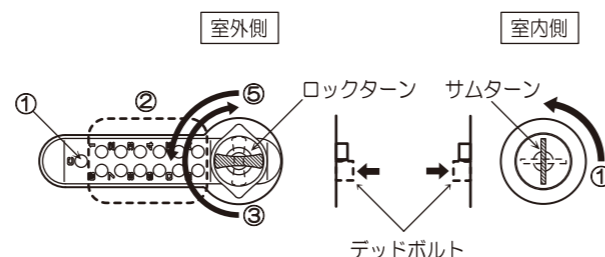


室外側

- ① C ボタンを押してください。
誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを戸先側に回しきります（タテ→タテ）
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します
ロックターンはヨコ向きで動かない：初期設定位置

室内側

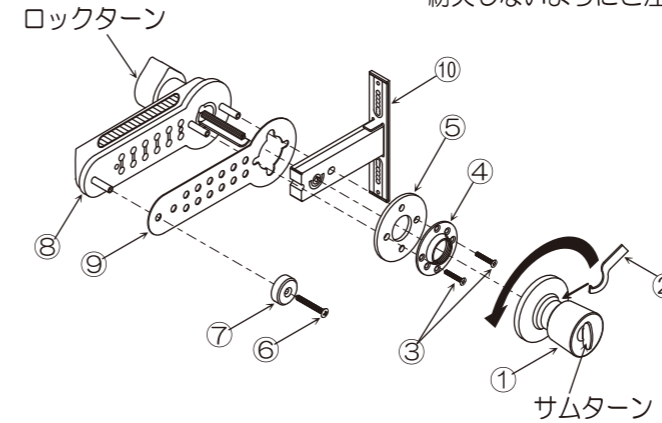
- ① サムターンを戸先側に90° 回す（ヨコ→タテ）
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます



記憶番号の変更手順

【1】 本体を取り外します

錠のデッドボルトが収まっていること、ロックターンが初期設定位置（ヨコ向きで動かない状態）になっている状態で取り外します。取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



- I：①室内側握り玉を取り外します。
- II：①握り玉の軸にある穴に②丸座固定レンチを挿し込み反時計回りに回し緩めて取り外します。
- III：③取付板固定ねじ（2本）と④取付板（扉の状態によって⑤スペーサーが取り付けられています）を取り外します。
- IV：⑥丸座固定ねじと⑦室内押え座を⑧キーレックス本体が落下しないよう注意しながら取り外します。
- V：⑨ゴムプレートと⑧キーレックス本体を落下に注意しながら⑩錠から抜き取ります。

【2】 本体裏側で記憶番号の設定変更をします

【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側のC ボタンを押します。
- ⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

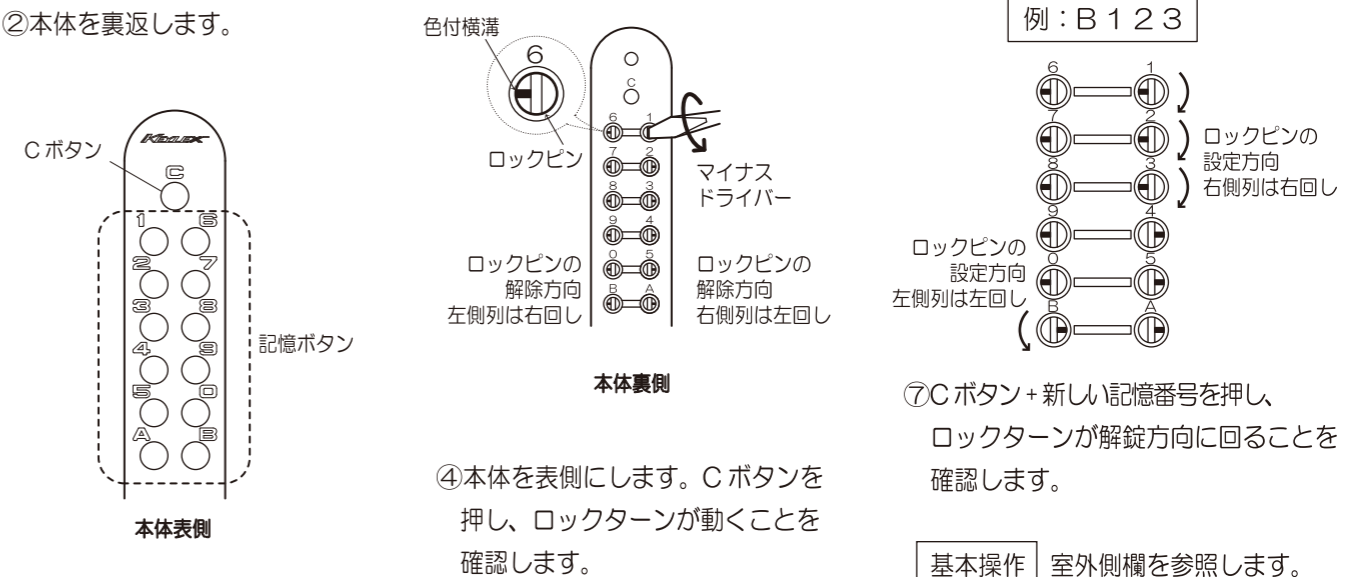
- ② 本体を裏返します。

【現在の記憶番号を解除】

- ③ 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。（ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる）

【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。



【3】 本体を取り付けます

本体を取り外したときと逆の順番で取り付けます

取り付けの際、吊元を確認し、ロックターンの初期設定位置（ヨコ向きで動かない）と錠の解錠状態（デッドボルトが出ていない）を確認し、セットしてください

角芯棒の青色面と錠のくぼみ部分をあわせて取り付けてください

本体・室内座をセットし、それぞれ確実に取り付けてください
完了です

角芯棒の青色面と錠のカム穴凸部分をあわせて取り付ける（図：右吊元仕様）

